

## 包 括 的 公 表

平成 26 年 10 月～12 月に報告された医療事故のうち、包括的公表となる事例は下記のとおりです。

発生場所	概 略	再発防止策
外来	同じ疾患に用いる類似した別の薬剤を指示し投与したが、健康被害はなかった。	薬剤名の後に（FSH）を入れ、識別ができるようにする。
入院	異なる母親の母乳を授乳させたが、健康被害はなかった。	<ul style="list-style-type: none"><li>・搾母乳は、母親自身が授乳させることを原則とする。</li><li>・職員が搾母乳を授乳させる場合は 2 人でチェックする。</li></ul>
入院	セフェム系薬剤禁忌の患者にスルペラゾンを投与した。健康被害はなかった。	電子カルテ上で禁忌薬の表示方法を工夫する。
入院	手術検体のホルマリン固定が遅れ病理診断が出来なかった。	検体は速やかに、ホルマリン固定を行う。